



健やかな朝食習慣を取り戻そう！

「大人の食育」推進に向けた新たな挑戦 官民連携食育プラットフォームに参画

キューピー株式会社

キューピー株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役 社長執行役員：高宮 満、以下キューピー）は、農林水産省が 2025 年 6 月に創設する「官民連携食育プラットフォーム」に発起人企業として参画し、当面取り組むこととしている 3 つのプロジェクト活動※のうち「朝食を食べようプロジェクト」を推進していきます。

本プラットフォームは、消費者（特に大人）に対して、食や農に対する理解を深め、健康的な食事をして、楽しい食の時間を過ごしていただくとともに、食卓と生産現場のつながりのある社会を目指す「大人の食育」を推進するため、政府と食品関連事業者が連携して個社ではできないようなプロジェクトに取り組む新たな枠組みです。

※ 「朝食を食べようプロジェクト」「バランスよく食べようプロジェクト」「食や農の現場を体験しようプロジェクト」の 3 つ

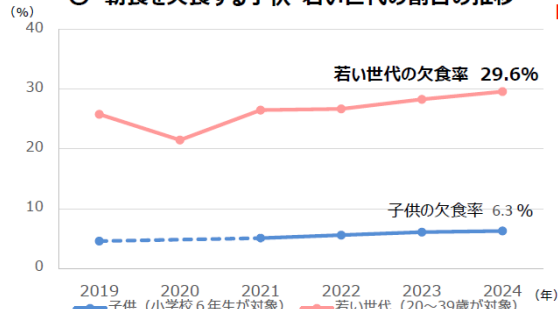
■官民連携食育プラットフォーム

https://www.maff.go.jp/j/syokuiku/otona_syokuiku/platform.html

健やかな朝食習慣を取り戻す「朝食を食べようプロジェクト」を主導

現在、日本では若い世代の朝食欠食率が 29.6%に達し、年々増加傾向にあります。また、一日当たりの野菜類摂取量も 20 歳代では 221.8g と、成人の摂取目標量である 350g を大きく下回っています。こうした食生活の乱れは、健康面だけでなく、将来的には食文化の継承や農業などの生産現場への理解にも影響を及ぼすことが懸念されます。

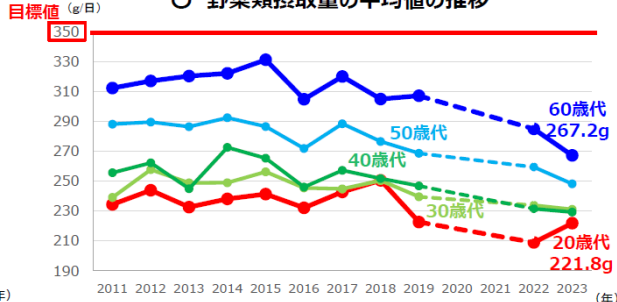
○ 朝食を欠食する子供・若い世代の割合の推移



資料：文部科学省「全国学力・学習状況調査」（朝食を欠食する子供の割合）
農林水産省「食育に関する意識調査」（朝食を欠食する若い世代の割合）

資料提供：農林水産省

○ 野菜類摂取量の平均値の推移



資料：厚生労働省「国民健康・栄養調査」

キューピーは、「朝食を食べようプロジェクト」の中核企業として、朝食摂取の習慣がない方や時間的余裕がない方に向けて、簡単に準備できる栄養バランスの良い朝食メニューの提案や、朝食を食べる習慣づくりをサポートしていきます。

食を通じた豊かな未来づくりへの挑戦

キューピーは創始者 中島董一郎の「食を通じて社会に貢献する」という考えのもと、さまざまな社会課題の解決に取り組んできました。今回の「官民連携食育プラットフォーム」への参画は、この考えをさらに発展させる取り組みです。

今後も、「大人の食育」の重要性を社会に発信し、健康的で豊かな食生活の実現と日本の食文化の継承に貢献していきます。